

月刊 キングラン通信

2012年

7月号

夏の訪れを告げる豊橋の夜店

こんにちは、「月刊キングラン通信」編集部
の原田です。先日、地元豊橋市の夜店に行っ
てきました。6月になると毎週金・土・日曜
日に豊橋公園内に屋台がずらりと並びます。



私も家族を連れて行って見たところ、店の
多さに圧倒されました。綿菓子、フランクフ
ルト、おもちゃに風船。公園中を屋台が立ち
並んでいました。会場内は地元の家族で大に
ぎわい。レジャーシートを敷いて宴会をして
いる人たちもいました。息子は大好きなクレー
プを食べた後、公園で他の子ども達とアス
レチックで遊んでいました。夜店に來ると、
もう夏が来たんだ、と感じます。今年も暑く
なりそうですね。

【カーテン雑学講座】

日本のカーテンの歴史

平安時代に見られるカーテンの原点

日本においては、平安時代に「几帳」が可
動間仕切りの用いられたり、「御簾」という
すだれを窓に使用したり、「壁代」という布製
品が壁面に使用されており、それらが今日の

カーテンの原点であると考えられています。
武家時代になると、壁や襖や障子がこれらに
とって代わる事になります。



カーテンが実際に渡ってきたのは江戸初期

日本でカーテンが初めて使われるようにな
ったのは江戸時代の初期で、長崎の出島に外
国公館が出来た頃というのが通説になってい
ます。しかしその頃は外国公館のみで使われ
ており、実際に日本人が使い始めたのは幕末
から明治にかけての時代であったのではない
かと言われています。当時のカーテンはほと
んどが輸入品の重厚で高価なもので、一部の
上流階級が使用していました。

家庭におけるカーテン普及は昭和 30 年代

一般住宅に本格的にカーテンが普及し始め
たのは、昭和 30 年代入ってからとのこと。
日本住宅公団によるアパート建設が始まった
ことにより、住宅産業が盛んになり、カーテ
ンが生産されるようになったそうです。

その後昭和 40 年代に入ると、遮光、遮熱、
防音などの諸機能を持つカーテンが登場し、
家庭の必需品として定着してきたのです。

※カーテンの歴史に関しては文献がほとんど無いため、インターネッ
ト等の情報を利用しております。あくまで参考程度にして下さい。

【今月のPICK UP！社員】

営業 ★栗田 伸吾★

日本一に輝いた男



今回は、当社カーテン営業部のエース、栗田を紹介します。栗田は沼津営業所のベテランで、三島市を中心にお客様のご要望にお応えすべく、日々営業活動をしています。彼は経験豊富な上に行動力があり、いつもお客様にとって最良な提案を考えます。この度、その取り組みが評価されて全国のキングラングループの営業の中で日本一の表彰を受けました。

愛のパワー？



栗田が今、がむしゃらに頑張れる要因の一つが昨年秋の結婚です。元々しっかり計画を立てて営業し、確実にサービスをコーディネート出来るメンバーでしたが、結婚を機にその責任感も増したようです。今では後輩の育成や沼津営業所のメンバーのマネジメント、そして会社全体の事にも目を配り、日々改善提案を行っていく、会社になくてはならない存在となっています。これも奥さんとの「愛」の成せる業なのではないでしょうか？



【今月のいいね！画像】

方言たっぷり。にくめない動物園



これは地元豊橋にある動植物公園、のんほいパークで撮った写真です。のんほいパークは昨年の秋にゾウの赤ちゃんが生まれたということで、地元で話題を呼んでいます。ローカルな施設ですが、遊園地もあり、入園すると一日楽しめるようになっています。

家族でゾウの赤ちゃんを見に行ったら、ふと園内で見かけた注意を促す看板を見て、東京出身の妻が衝撃を受けました。

「このなかにはいらんで」

三河訛りたっぷりの注意書き。私も面白がって写真撮影し、FacebookにもUPしました。地元ではよく知られている看板のようです。ふっと体の力が抜けちゃうようなこの注意書きは、園内数カ所で発見出来ます。

何となく憎めないこの動植物公園、近場で安く遊べる場所でもありますので、時々子供を遊びに連れて行っています。

【のんほいパーク（豊橋総合動植物公園）】



豊橋市大岩町字大穴 1-238

TEL：0532-41-2185

開園：午前9時～午後4時30分

入園料：大人600円 子供100円

のんほいパークは、動物園、植物園、自然史博物館、遊園地が一体となったテーマパークです。

なぜ採用がうまくいかないのか？

私は数年前、東京の求人広告代理店に勤めていました。その間取り扱った案件数は700件。製造業、サービス業、建設業、医療・福祉等、様々なジャンルの採用に携わり、経営者や人事担当者との会話を重ねて来ました。このコーナーでは、その経験を元に、企業での大きな課題の一つである人材採用についてのヒントを発信していきたいと思います。

求人広告の依頼がある際、お客様の悩みとして多かったのは、「優秀な人材が集まらない」「採用しても離職してしまう」「求人を出しても反響が無い」などでした。私達はそれらの悩みを様々な手法で解決してきたわけですが、そもそも何故、このような悩みが後を立たないのでしょうか？



採用のカギは「コミュニケーション」

もし、お客様に何かの商品を売り込みたい時、何に配慮して、どのように伝えるでしょうか？ 大切な友人やパートナーにお願い事をする時はどうでしょう？ 部下に重要な仕事を依頼する時は？ 伝える内容や伝え方など、いろいろ考えると思います。人に何かを伝える時には必ずコミュニケーションが発生します。それが大切な場面であればあるほど、事前に様々な事を考え、入念に準備をします。

実は求人も同じです。希望する人材に自分の職場で働いてもらうようお願いする。そこ

にはコミュニケーションが発生します。相手の事を考え、相手が行動してくれるように情報を伝えます。それらを事前に準備し、誰に、何を、どのように伝えるのかを事前に計画する。それを採用コミュニケーション・エンジニアリングと呼びます。

朝 4:00 出勤の仕事に 80 名の応募

採用コミュニケーションが上手くいった例を一つお話しします。以前、築地市場で魚を運ぶ「ターレ」という車の運転手の募集を依頼されました。月給はそこそこ、ボーナス無し、勤務時間はなんと朝 4:00 から 12:00。仕事内容は、市場内で売買された魚を入り口まで運ぶというものでした。

職安で採用出来ないとの事で依頼を受けた私は、まずこの仕事をやってくれそうな方を想定しました。調査の末、行き着いたターゲットは「バンドマン」。安定した収入と、音楽活動のための時間を両方必要とする人達です。朝さえ頑張れば、日中は自由な時間が得られる仕事であるゆえの想定でした。相手に投げかけた言葉は「昼からビールが飲める仕事」。これで全く反応のなかった募集案件に対して 80 名の応募が集まり、無事採用が出来ました。



ここでの採用コミュニケーションのポイントは、条件にメリットを感じてくれる相手を想定した事と、想定した相手に響く情報を選定した事です。採用コミュニケーションの第一歩として、自社にメリットを感じる相手は誰か？ その相手が働きたくなるような情報や言葉の使い方は何か？ それを一度考えて募集要項に盛り込んでみるだけでも、求人の効果はUP するのではないのでしょうか？

【今月の”実践”したくなる一冊】

女性のマネジメントに関する必読書

このコーナーでは、ビジネス・組織運営に役立ち、”実践”したくなるノウハウが満載の書籍をご紹介します。



『女性に尊敬されるリーダーが、成功する』

ダイヤモンド社 中谷彰宏（著）

2007年3月2日 発行

常識が非常識？女性のマネジメント

私は前職、男性・女性が約半々の会社に勤めていました。営業と管理職を務めた私は、女性の営業サポートスタッフや女性の部下と一緒に仕事をする場面が多くありました。自分としてはしっかりマネジメントしていたつもりだったのですが、女性スタッフとのコミュニケーションがなかなか上手くいかず、頭を悩ませたことがありました。

その時出会った本が本書です。その内容はまさに目からウロコ。自分がこれまで受けていたマネジメントや、男性社員に対してのマネジメントの常識が覆されるようなノウハウの数々が紹介されています。本書の情報を活用して、女性スタッフとコミュニケーションを取ったところ、非常に良好な関係が築く事ができ、仕事もしやすくなりました。

雑談の多いリーダーが尊敬される？

本書で紹介されるノウハウは、これまでのマネジメントの常識を覆すものばかりでした。しかし、実際に応用した時に上手くいく事が多かったので、本書の手法はお勧めです。

まず私が活用したのは「雑談」です。男性スタッフとの信頼は仕事を通じて築きます。ですが、女性は仕事ではなく、「雑談」を通して信頼を築くのだそうです。日ごろの何気ないおしゃべりを続けていくことで信頼が出来、

その上で仕事を依頼すると上手くいくのだとか。実際に実行してみましたが、以前と比べて格段に仕事もしやすくなりました。

その他にも、「叱る時間の上限は1分」「小さな約束ほど守る」「高い評価よりも早い評価」など、目新しいノウハウが満載です。私もこれらのうち出来るものから取り組んでみましたが、女性スタッフとの良好な関係を作れるだけでなく、若手の男性スタッフにもこの方法が有効であることが分かりました。女性スタッフのマネジメントに悩まれている方は、是非一度手に取られるといいと思います。

編集後記

漫画『ONE PIECE』に学ぶものは？

以前から友人、社員、そして経営者の仲間からも勧められ続けて、やっと漫画『ONE PIECE』を読み始めました。少年漫画を読むのは実に10年ぶりですが、ストーリーの面白さにはまって一気に読んでいます。

『ONE PIECE』に学ぶ様々な哲学が本などで紹介されたり、ビジネス書にもなったりしているとか。まだ私にはその深い部分は分からないので、『ONE PIECE』論をお持ちの方は、是非教えて頂ければ幸いです。

キングラン通信編集部

原田 浩史



<発行>



キングラン東海株式会社

【本社】 〒442-0811 愛知県豊川市馬場町薬師 75 番地

TEL : 0533-89-4545 / FAX : 0533-89-2282

【沼津営業所】 〒411-0824 静岡県三島市長伏 83-3

コーポラス杉山V 1-A

TEL : 055-984-3636 / FAX 055-984-3637

【ホームページ】 <http://www.kingrun-tokai.co.jp/>